

佛心

二〇一七年五月号

浄土真宗 本願寺派

トロント本願寺



ろうそくの声

「暗闇を恨むより
蠟に灯を点せよ」

毎週日曜日の職務で、法要のためにお寺に来て内陣の蠟燭に灯を点すことが私のお気に入り作業です。

私が内陣で作業しているとところを見かけたことがある方もいらっしゃるでしょう。会係としての私の仕事は、法要のために内陣の準備をし、またそれを確認することです。内陣は綺麗に整然としたものでなければならぬので、テーブルクロス（「打ち敷き」や「水敷き」と呼ばれるもの）はきっちり奉仕に適していなければならず、米、果物、餅のお供え物も慎重に飾らなければいけません。祭壇の弓飾りが適切に配置され、僧侶用の法要の式次第も抜かりなく準備されてい

ることを確認します。

最後の仕上げには、喚鐘で法要の始まりを告げる前に、阿弥陀仏、親鸞聖人、蓮如聖人の前に置かれた3つの白い蠟燭に灯を点けます。

それは単純な荘厳作法かもしれませんが、私にとつては重要な意味合いがあります。門徒式章を肩にか、私は火の元となる蠟燭に火を点け、内陣へと入ります。まず、阿弥陀仏の前の蠟燭を丁寧につけ、親鸞と蓮如の両聖人の御影の前の蠟燭へと続けていきます。そしてこの瞬間こそ、私が俗世間と離れ真に集中でき、阿弥陀如来のおはたらきを感じれる一時でもあるのです。つまり、それは仏・法・僧を分かち合える時間でもあり、いつも平和でなんでも受け止めてくれるような瞬間となります。

仏教において、蠟燭に火を点す行為は、多くの他の宗教と同様に、象

徴的で重要な意味合いがあります。光は智慧を象徴し、知恵の光が心の中にある無明（愚痴）の闇を追い払っていきます。

"There is not enough darkness in all the world to put out the light of even one small candle." (Rev. Robert Alden)

「この世の闇を全て集めたとしても、たった一つの小さな蠟燭の光ですら消すことはできない。」
(Robert Alden)

伝統的な考え方では、蠟燭を人生に見立てることがよくあります。蠟燭の蠟と芯の品質が十分であれば、蠟燭は炎という智慧をしつかりと灯し、運ぶことができます。

私は少し前にあることに気が付きました。蠟燭には火を点すことが簡単なものと難しいものがあるのです。新しい蠟燭は時々火が点くまで少し余分に時間がかかりま

す。これを比喩的に解釈してみると、最初に仏教に遭遇した時の私たち人間の反応と似ているところがあのように思えてきます。不安で少し困惑してしまい、仏教の教えの智慧をしつかり聴聞させてもらうのには苦勞が伴います。ただ懐疑的であっても問題ありません。仏陀は健全な懐疑心は盲目の信仰よりも好ましいと教えています。

もし蠟燭に火を点けるのが難しい場合、その蠟燭に無理やり火を点けようなどと考えられません。着火用の器具に頼る必要はありません。単に時間をかけ、忍耐しながら優しく待ち続けます。最終的にはいつかは蠟燭に火が点きます。これは仏教から学んだ素晴らしい教えの一つです。私は今まで仏法を強制されたことはありません。とても自然に包み込むように私の傍にありました。仏様の教えに含まれているすべての智慧を反映することができれば、智慧は自ずと敬愛と伴にもたらされるのです。



みなさんは風の強い日に外で蠟燭に火を点けようと試みたことはありませんか？ 簡単ではありません。私には煙草を吸っていた友人おり、彼は珍しい火のつけ方をしていました。彼はきつと台風の中でも煙草に火を点けることが出来たでしょう。なぜなら、彼はライターの周りを手で囲い、風と雨から炎を守りながら火を点けていたからです。彼のつけた火は決して消えることがありませんでした。

風と雨が強い嵐の中では、蠟燭に火を点けることは非常に困難です。この嵐は、私たちが実生活で苦しんでいる不安や苦痛、心配、欲望という煩惱を表しています。そしてその嵐は仏の教えの智慧をいたたく際の妨げとなることがあります。しかし、私たちが蠟燭を紙の灯籠で囲んだり芯の周りに手を置いて守ってあげていると火は点きます。

私はその「灯籠」を浄土真宗におけるお寺だと考えています。もしくは、その「灯籠」は心の安穩である

とも考えられます。そして、その「手」は私たちの開教使たちの手であるとも考えています。慎重に阿弥陀仏の慈悲と智慧の灯火を運び、私たちにもたらしてくれれます。私はそのことをいつも感謝しています。

蠟燭に火が灯るその瞬間、どのようなことが起こりますか？ 私にとつては、その瞬間が信心です。すべての疑念が脇に投げ捨てられ、私たちが正しい信仰の道にいますという信心を持つことが出来る瞬間なのです。その瞬間から、私たちは阿弥陀仏の無限の光と慈悲のおはたらきに包まれ、決してそれが無くなることはありません。

蠟燭は私に話しかけます。それぞれに声があります。それぞれの教訓に注意深く耳を貸します。毎週日曜日、お寺の安寧の中で、それらちよつとした会話をすることができて私は嬉しいです。開教使方の法話を聞く心の準備をするに当たり、それらの会話は役立つてくるのです。

合掌

ジョン・スカルトン

「自分探し」に惑わされない

「自分探し」という言葉は、いつごろから使われだしたのでしょうか。少なくとも、私の若いころには使わなかったように思います。

この言葉には、「今の自分はほんとうの自分ではない」という焦りに似た思いと、「どこかにもっと素晴らしいほんとうの自分があるはずだ」という願望とがこめられているのではないかと感じます。しかし、探して見つかるような「自分」が、今の自分のほかにあるのでしょうか。「自分」とは、何かに取り組んで成長し、人生を充実させていく課程そのものではないかと思えます。焦って「今」を否定したり、「今」以外のどこかに「自分」を探して迷うより、「今」にしつかりと向き合うことが大切なのです。

「自分探し」という言葉が出てきた理由は、社会や親から「自分らしさを持つ」「自分の個性を出せ」と言われつけ、そうしたプレッシャーになんとか応えなければならぬとする若い人の反応なのかもしれない。しかし、「自分の個性を出せ」と言う同じ口で、親も社会も「目立つことはするとみなから嫌われるからよしなさい」と没個性を要求するのですから矛盾しています。

ある小学校で、「みんな違って、みんないい。」という金子みすゞさんの詩の言葉を各クラスに張ることになりました。それぞれの個性を尊重しましょうというわけです。ところが、どのクラスでも、教室の同じ場所、同じ位置に、その詩は張ってあったそうです。みんな違っていいのなら、それぞれ好きなところに張ればよさそうなのなのに、どの教室も寸違さわらない場所に張ってあったというのです。

私はこの記事を読んで思わず笑ってしまいました。その学校では、「みんな違って、みんないい。」と、いかにも生徒たち一人ひとりの個性を認めるかのようなふりをして、実際にやっているのは、「詩はここに張りなさい」と型にはめることだったからです。

「自分」などというものは常に流動的で、今の自分はどうだと言えても、次の日にはまた違った面が出てきてもおかしくありません。「自分はこうだ」とあまり固定的にとらえず、また、「自分探し」などという言葉に影響されずに生きたほうがよいように思います。

浄土真宗本願寺派 西本願寺

前門主 大谷光真

(『人生は価値ある一瞬』POMO研究所)より



日本語法座のご案内(毎週月曜10時より)

『浄土真宗って? 仏教って? そもそも宗教ってなんだろう?』

そういった疑問を駆け出しの坊主と一緒に考えながら、噛み砕いた言葉でお話しをしています。親鸞聖人がお書きになった正信偈と一緒に称え、浄土真宗のみ教えに耳を傾けてみませんか? 毎週月曜日10時より勤行の後、日本語の法話をしています。



5月の日程表:

- | | | |
|-----|-----------|----------------------------|
| 1日 | 正信偈(行譜)和讃 | なもあみだぶつのお
「南無阿弥陀仏をとふれば」 |
| 8日 | 正信偈(草譜)和讃 | なもあみだぶつのお
「南無阿弥陀仏をとふれば」 |
| 15日 | 正信偈(草譜)和讃 | せいしねんぶつえんずう
「勢至念仏円通して」 |
| 22日 | 正信偈(草譜)和讃 | ほんしりうじゅぼさつた
「本師竜樹菩薩は」 |

問い合わせは、大内祐真(僧侶)まで rev.ouchi@tbc.on.ca

2017花祭り家族晩さん会

4月15日(土曜日)、トロント仏教会門徒により毎年恒例の花祭り家族晩さん会が主催されました。

当日は100名を超えるメンバーとその家族友人達が、ローストビーフ、サケ、ファラフェル、ハマス、菜食主義者のためのタブー等を共に楽しみました。この晩さん会主催にあたり、トク スヤマ料理長、ランディー サカユエ氏およびジョアン カタオカ氏に多くの感謝を差し上げたいと思います。さらにこの料理担当の皆さん方には、翌日の花祭りランチのための料理も作っていただきました。当日は多くのボランティアの方達にもお手伝いいただき、このボランティアの皆様なくしてこの晩さん会の実現はなく、またCCOV Team Threeのメンバーの皆さん主導による後片付けにも感謝を表明したいと考えます。



過去において、この晩さん会は日系人ファミリーの多世代行事として行われていました。しかしながら、お寺のメンバーが多様化してきた近年において、この行事は多世代行事であるとともに、多文化行事にもなっています。多文化、多世代であることに加え、アレキス ジェノーとアビゲイル ジェノーにも参加していただき、あたかも4インチ幅の平均台の上で空を舞うように、息をのみ、目にも留まらない早さの器械体操の実演を行っていただきました。

この2姉妹はフレッド&アン コタニ夫妻の孫娘さん達で、彼女たちはオンタリオ州の同器械体操種目ではトップ10に入る実力を持っています。



またグレン タカサキ氏には、ジェームス テイラーの「Carolina On My Mind」とポール サイモンの「Kathy's Song」の演奏で、舞台上に花を添えていただきました。



この演技、演奏のあとは、ピー シライシ氏の好意によるフルーツサラダと、ビンゴやドアプライズを皆さんで楽しみました。



ドアプライズの寄進や寄付を頂いた皆様には多大な感謝を差し上げたいと考えます。

最後に、私の良き友人たちとビジネスパートナーであるジェームス テカタ氏から車の提供をいただき、「モミジ」に入居のトロント仏教会メンバーの移動の便宜を図り、結果として同メンバーの皆さん達が晩さん会を楽しめたことにも感謝したいと思います。

この晩さん会に参加された皆様、特に寄付やボランティアをして頂いた皆様には、私の心からの感謝を差し上げると共に、来年もまたお目に掛かれるよう希望します！

キャリー カタオカ、トロント仏教会門徒代表

宗祖降誕会

5月21日(日)

午後11時より

浄土真宗の宗祖である親鸞聖人は、平安時代の末、承安3(1173)年5月21日に京都の日野の里(現・京都市醍醐)にてお生まれになられました。

親鸞聖人のご誕生を

トロント仏教会と一緒に
お祝いしましょう。



今年(五月二十一日(日))午前十一時より行います。お子様へのギフト(記念品)もございまして、ぜひご参加ください。申し込み用紙は『佛心』英語版にございますので、必要な箇所をご記入いただき、五月十四日までにお申し込み下さい。

初参式(しよさんしき)とは、人としてのいのちを授かったことへのお礼とご報告をお寺の阿弥陀仏の前で行う大切な式です。

初参式のご案内



毎月第1・3日曜はお寺でHAVE A FUN!!

10時半からのキッズサービスに引き続き

楽しいクラスやアクティビティを通して

アミダさまのお心を学びましょう

☆クラス予定表☆

5月7日(日)10:30~

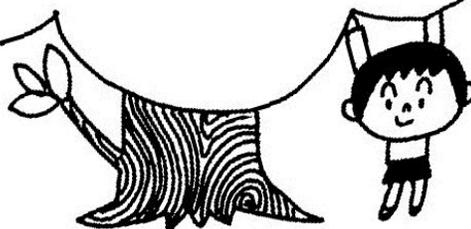
5月21日(日)10:30~

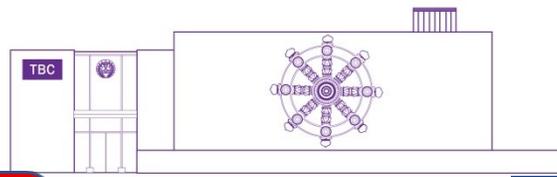
6月4日(日)10:30~

お子さんがいらっしゃる方はぜひご参加下さい。

おしらせ

6月の3日と4日は、子どもを対象とした一泊二日でお寺にお泊りをするSleep Overが開かれます。子ども会の先生やボランティアの方々、ユースグループの子たちがお子様の面倒をみてくれます。お参りやクッキング、ミニゲームなど充実した一日をお寺で一緒に過ごしませんか?





会員登録
新規／更新

会員登録のお願い

オンライン登録
新規／更新

2016年が過ぎ、また2017年度会員登録のお願いの季節になりました。昨年も会員登録数が増え、300名を超えました。この順調な増加傾向はトロント仏教会の将来に向けた心強い流れになっています。しかしながら、いまだに会員登録をされていない方がおられます。

言うまでもなく、トロント仏教会の将来は会員の皆様に依存しており、ここに今年度の会員登録と会費のお支払いをお願いするものです。

トロント仏教会は常に会員特典の向上をめざしておりますが、ここにいくつかの特典を列記します。

1. トロント仏教会の運営に関する投票権の取得、例えば総代表および各会リーダーの選出、予算の決裁その他トロント仏教会の将来に関する重要な事項等。
2. “Jodo Shinshu values of the Temple” の定期購読
3. 現行会員による無料公証業務
4. CAA Premium-level の割引
5. トロント仏教会特別行事への参加費用の免除あるいは一部減免

一般会員とは各年1月1日から12月31日まで有効で、トロント仏教会の会員として活動するにあたり、年初において速やかな会員登録をお願いします。会員登録と会費（2017年の会費は最低\$100から\$125に上がりました）の受理後（あるいは5月31日までに支払うとの確約後）、会員カードを送付します。

名誉会員とは77歳以上の方で、2017年度会員登録をされた方、あるいはすでに名誉会員であり毎年名誉会員の継続を表明された方、に会員カードを送付します。名誉会員は年会費が免除されますが、ご志納はありがたく拝受させていただきます。